



第8回食育活動表彰
審査委員特別賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

審査委員特別賞

高松市生活研究グループ

[香川県 : 活動期間66年]

高松産ごじまん品とジビエ肉を中心とした地産地消と食育への推進活動

農村に生きる女性たちによる 「かまどの改善」から始まった活動

当活動は、昭和32年、農村に生きる女性たちによる「かまどの改善」から始まりました。社会の変化に伴い活動内容も多様化され、その中でも郷土料理の伝承や地産地消の推進、食育活動に力を入れて取り組んできました。種まきから食卓まで携わっている農家女性だからこそ得ることのできる視点で素材の味を生かしたレシピを考案し、次世代への継承を目指しています。今後も、地域とのふれあいを大切にした食育活動を継続するとともに、SNS等の媒体を活用して活動の幅を広げていきます。



調理実習の様子

親子クッキングや男の料理教室などの イベント等の開催

日常生活で料理に触れる機会が少ない男性や子どもたちを対象とした料理体験イベントも開催しています。男性を対象とした「男の料理教室」では、高松産ごじまん品を使用したおせち作りを実践し、郷土料理の伝承を促進しています。また、子どもたちを対象とした「親子クッキング」では、親子で料理に挑戦し、料理は楽しいものだと思ってもらえるようなきっかけ作りを提供しています。



親子クッキングの様子

高松産ごじまん品を中心とした 地産地消と食育への取組

平成16年からは、活動テーマを「高松産ごじまん品を中心とした地産地消と食育への取組」として新メニューの開発に取り組んできました。地元高松市内で生産される農産物「高松産ごじまん品」や有害鳥獣とされるジビエを使用した「ジビエ料理」のメニュー開発を継続的に行い、より多くの人に手に取ってもらう機会を作っています。



高松ごじまん品の販売

種まきから食卓まで携わっている農家女性の視点で取り組んでいます



この度の受賞をグループ員一同、とても誇りに思い、深く感謝いたします。私たちの活動の合言葉は「成長」。一人一人が目的意識を持ちながら、今後も、学び、生み出し、そして広めることを生活の基盤として、高松産ごじまん品やジビエ料理を中心とした地産地消と食育への取組に励んでまいります。

高松市生活研究グループ連絡協議会
会長 吉村 理恵